

レジリエンスを 社会問題に どう適用するか

日時：2020年5月23日（土）14:00～17:30

開催形式：オンライン（Zoomミーティングを使用）

事前申込制（定員20名） 社倫研Webページよりお申し込みください↓

講師：市原あかね（金沢大学 人間社会研究域 経済学経営学系 教授）

演題：「地域社会のレジリエンスと転換能力
—学際研究・教育のためのレジリエンス思考」



講師：梅津千恵子（京都大学 農学研究科 生物資源経済学専攻 教授）

演題：「レジリエンスを考える
—アフリカにおける食と栄養の安全保障」

討論者：奥田太郎（南山大学 社会倫理研究所 第一種研究所員）

司会：籠橋一輝（南山大学 国際教養学部 准教授／社会倫理研究所 第二種研究所員）

私たちは不確実性に満ちた世界に生きています。地球温暖化、テロリズム、戦争、地震・洪水等の自然災害、そして昨今では新型コロナウィルスの世界的流行（パンデミック）は、私たちの社会の脆さを改めて浮き彫りにしています。こうした未曾有の危機を前にすると、私たちは過度に悲観／楽観の立場に偏ってしまいがちです。しかし、いま私たちに必要なのは、未来が持つ本質的な不確実性をただ嘆いたり、危機から目を背け続けるのではなく、コントロール可能な範囲でいかに危機に立ち向かっていくかという私たち自身の姿勢ではないでしょうか。

この懇話会では、私たちが危機に立ち向かうための基本概念として、「レジリエンス」に注目します。今回はお二人の講師の先生をお招きし、環境や地域の危機へのレジリエンスの応用例について、お話し頂きます。その上で、社会の〈しなやかさ〉や、危機への〈対応能力〉をどのように育むかといった実践的な課題や、レジリエンス概念をめぐる哲学的な課題等について、議論を深めたいと思います。

【お問い合わせ】
南山大学社会倫理研究所
E-mail : n-ise@ic.nanzan-u.ac.jp
Website : <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>

